英語

TYPE S

9 (3)

「情報を正しく伝える力を高めよう」

～与えられた情報に基づいて，３人称の英文を正しく書く～

与えられた情報に基づいて，３人称単数現在時制の肯定文や否定文を正確に書くことに課題が見られました。そこで，本授業アイディア例では，自分の考えや気持ちなどを正しく伝えるために，正確に文を書くことができるようになるための指導事例を紹介します。

課題の見られた問題の概要と結果

9 語や文法事項等を理解して正しく文を書く

9 (3) ① 正答率 **54.3** % 与えられた情報に基づいて，ある女性を説明する英文を書く（出身）

② 正答率 **33.8** % 与えられた情報に基づいて，ある女性を説明する英文を書く（住んでいる都市）

③ 正答率 **38.3** % 与えられた情報に基づいて，ある女性を説明する英文を書く（ペットの有無）

学習指導要領における領域・内容

言語活動
エ　書くこと　(ｱ)(ｲ)

授業アイディア例

【言語活動を通してコミュニケーションを図る資質・能力を育成する学習の流れ】

1. Reporter になろう
情報リストを基に，ある人物について友達に書いて報告する

→

2. Editor になろう
書いた英文を読み合い，読み手に正しく伝わるように書き直す

→

3. Writer になろう
インタビュー活動で収集した情報を基に，友達についての報告文を書く

目的：言語材料を学習した当該単元を越えて，長期的に繰り返し「書くこと」の言語活動及び指導を行い，正しく書く力を身に付ける

1. Reporter になろう

（1）ペアでそれぞれ異なる人物の情報を基に報告文を書く
（2）書いた後，読み直して確かめてから口頭で伝え合う

Today, you are reporters. First, please read the information and write about the person. Second, please check your English and tell about the person in pairs.

【Mary の情報】

名前	メアリー
出身	カナダ
住んでいる場所	東京
言語	日本語× 英語とフランス語○
スポーツ	サッカーが上手だ

→

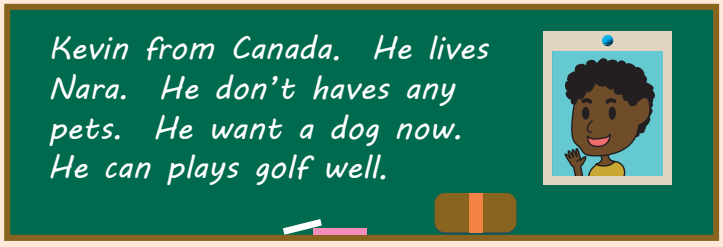
【A さんが書いた Mary についての報告文】

Mary from Canada. She lives Tokyo. She don't speaks Japanese. She speak English and French. She can plays soccer.

2. Editor になろう【STEP 1】

（1）誤りのある別の英文をクラス全体に提示して全員で修正する
（2）生徒が気付いた誤りのポイントをまとめてチェックリストにする

This is a report about Kevin. What do you think? Let's correct the errors together.



「～出身」ってKevin from…? 何か足りない?

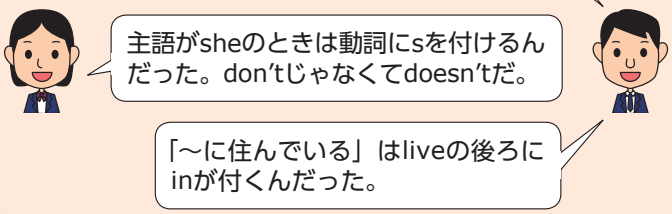
heのときは動詞にsが付くんじゃない? じゃあ否定文はどうするんだっけ?

canって動詞にsが付くんだった?

2. Editor になろう【STEP 2】

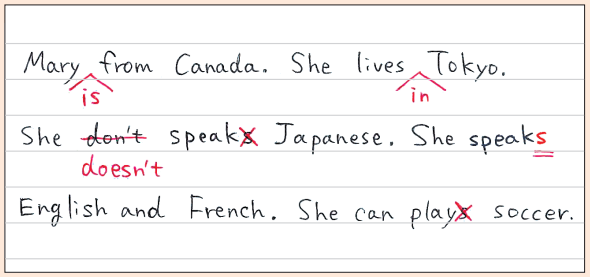
（1）「1. Reporter になろう」で書いた報告文をペアで読み合う
（2）【STEP 1】でまとめたチェックリストを活用して誤りを修正し，書き直す

Exchange your reports in pairs and rewrite. You can use the check list. When you rewrite, don't use an eraser. Draw a line to delete words, or add words.



「Editor になろう!」
英文の正しさチェックリスト（例）

□	from の前に is があるか
□	live の後ろに in があるか
□	主語が I と you 以外で単数の時の動詞の形は正しいか（like? likes?）
□	主語が I と you 以外で単数の時の否定文は正しいか（don't? doesn't?）
□	be 動詞と一般動詞を一緒に使っていないか
□	can の後ろの動詞の形は正しいか（play? plays?）



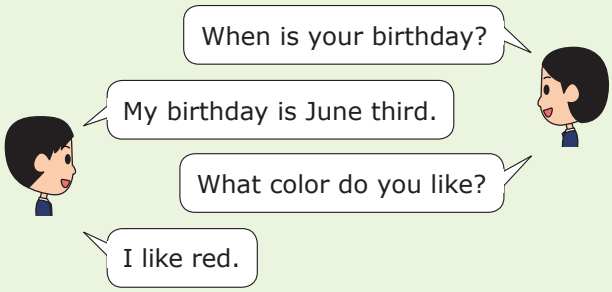
ポイント

- 相手に正しく伝わる文章になっているかどうかを，生徒自身が読み直して誤りに気付き，修正を加えながら正確さを高める活動を行う。
- 生徒の実態に応じて，チェック項目を示し誤りのある部分に印を付けさせるなどして，誤りに気付くことができるようにする。
- 短時間ではあるが，継続的な指導により，誤りのある英文を自己修正する力を身に付けさせる。

3. Writer になろう

（1）ペアで互いのことについてインタビューし合う
（2）収集した情報を基に友達についての報告文を書く
（3）書いた文を自分で修正したりペアでチェックし合ったりする

To write about your friend, ask your friend some questions and get more information. If you finish writing, check your English. Also, exchange your reports in pairs.

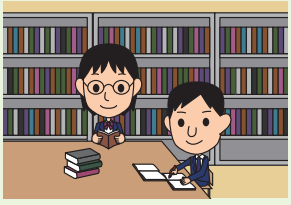


【Ryo についての報告文】

Ryo is my friend. He is from Minami-machi. He is thirteen years old. His birthday is June third. He plays soccer. His favorite color is red.

ポイント

教師にインタビューして書く活動や，紹介したい人や憧れの人，好きなスポーツ選手等を紹介する英文を書く活動を行うこともできる。書く目的や場面，状況を設定し，生徒の書く意欲を高めることができるようにする。



正しく書く力をより確かなものにする

I，you 以外の主語や無生物が主語になる英文を書く機会を設け，様々な形式の英文を書く活動を行う（例：左のイラストの様子を描写する）

This library has many books. A boy is writing something now. A girl is reading a book now.

本授業アイディア例 活用のポイント！

- 言語の正確さを高めるためには，ある程度時間が必要であることに留意して，何度も様々な場面で既習表現に触れたり考えたりする機会を設け，「最終的に身に付けていく」というスタンスで長期的に繰り返し指導することが大切である。
- 生徒が書いたチェックリストや英文は回収・分析して，どのような点につまずいているのかを明らかにして今後の指導に生かしたい。また，本調査の報告書に掲載されている解答類型や誤答例も，正しく伝える力を高める指導に活用することができる。

参照▶「平成31年度（令和元年度） 報告書 中学校 英語」P.56 ～ P.60,「平成31年度 解説資料 中学校 英語」P.44 ～ P.48